



精神伝統は、まるで「北極星」のように
私たちの進路を示し続けているようです。

方をするにありますが、
私たちは、人生を自分の力だけで生
きているように考えてしまいがちです
が、他方で自分の力を越えた働き、影
響を受けながら生きています。モラロ
ジーではその働きを、すべてのものを
育む力として捉えています。
この力を生かすには、日ごろから社
会に暮らす人々の幸せに心を向ける努
力を重ねることです。人のため、社会
のために生きることは、直接的にも間
接的にも、自分の喜びにつながることを
精神伝統は教えてくれます。社会に
開かれた心づかいの習慣が身につくと、
次第に自分中心の世界から離れて、多
くの人と調和して生きる人生を歩んで
いくことができます。
このように考えてくると、精神伝統
はまるで「北極星」のように、私たち
の進路を示し続けているようです。判
断に迷う時は、夜空を見上げて、彼ら
の教えに目を向けることで、自信をも
って次の一歩を踏み出せるのではない
でしょうか。

第二部 実践編
第八章 伝統報恩
二、(三) 日常生活における
各伝統への報恩

モラロジー研究所の概論講
座で使用する改訂『テキ
スト モラロジー概論』につ
いて、今月は第八章の二、
(三)の「日常生活における
各伝統への報恩」を図解し
ます。



モラロジーを楽しく、平易に学
びたい——。そんな要望にお応
えして、この連載では改訂『テキ
スト モラロジー概論』の内容
を図で解説します。ご自身の学
習に、あるいは勉強会の資料と
してご活用ください。

構成＝「れいろう」編集部

道徳実行の道しるべ

——精神伝統の役割とはたらき

きのしたじょうこう
研究センター教育研究室 木下城康

道徳を学んで、自分ではよいことを
したくても、実際には何を行えばよい
かがわからない場面は多いものです。
なぜなら、何をするのがよいかは、
それぞれの場面で異なってくるからで
す。その場にいる私たち自身が答えを
考えるほかはありません。
では、どのような標準で答えを見い
だしていけばよいのでしょうか。
古くから受け継がれている教説や教
訓などの歴史を紐解く時、「聖人」と呼
ばれる人々とその系列に辿りつきます。
モラロジーではこれらの人々を「精神
伝統」と呼んでいます。
精神伝統は聖人として、また聖人の教
えを受け継ぎ、生き方の指針を後世に
示しました。そこから、道徳実行の標準
や指針については学ぶことができます。
精神伝統の教えに導かれて、人類は
世界全体や未来の世代までを見通した
道徳を考えられるようになってしまし
た。その教えと生き方から学ぶことが
できる標準の核心は、自分中心の利己
的な本能を離れ、社会に開かれた生き